多彩なリメイク衣装

9月30日、第3回忠類シニアファッションショーが忠類コミュニティセンターで開催され、地域住民ら約400人が来場しました。

タンスに眠る着物をベストやブラウス、ロングドレスなど現代風にアレンジした72点の「リメイク衣装」を披露しました。

平均年齢70歳以上のモデル達は、プロのメイクさんにお化粧を施してもらい、音楽に合わせてウォーキングし、思い思いのポーズを決めて、会場を沸かせていました。

このショーは、忠類に住む高齢者が、地域を盛り上げたいという思いから、実行委員長の武内さんを中心に作り上げられ、年追うごとに多くの地域から多数のシニアモデルたちが参加しています。

▶初出演の坂田さんに突撃取材！

▶華麗なお、ぐるとり モデルさん

▶武内実行委員長と衣装担当の奥田さんに取材中

忠類シニアファッションショー

1日体験 子ども記者

町民参加型広報紙の企画「一日体験子ども記者」に忠類小学校5年生の眞鍋朱里（あかり）さんと森本那奈（なな）さんが参加してくれました。今年で3回目となる忠類シニアファッションショーを取材しました。子ども記者は、武内悠紀夫（ゆきお）実行委員長や衣装担当の奥田ヒサ子さんなどに元気よく質問を投げかけていました。

子ども記者が奮闘

○初めて出演した坂田玲子さんに取材しました。

森本記者初めての出演に緊張はしませんでしたか。

坂田さんとても緊張しました。何度も練習したので上手にできました。

○次に衣装担当の奥田ヒサ子さんに取材しました。

眞鍋記者衣装を作るのにどのくらいの期間がかかりますか。

奥田さん着物の柄によりますが、一着作るのに3日から5日くらいかかります。

○次にメイク担当の資生堂の横山さんに取材しました。

眞鍋記者どんなことに気を付けてメイクしていますか。

横山さん衣装などに合わせて、モデルの方が美しく見てもらえるよう気をつけています。

○最後に実行委員長の武内悠紀夫さんに取材しました。

森本記者どのような気持ちでファッションショーを始めたのですか。

武内さんお年寄りの心を元気にしたいという思いから企画しました。

○子ども記者が一日の感想を語ってくれました。

眞鍋記者記者体験は大変だったけど、楽しく取材できて良かったです。

森本記者出演したおじいちゃん、おばあちゃんが輝いて見えました。